

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年 6月 12日	
名古屋市長 様	
提出者	
住 所	名古屋市中川区松年町4丁目66番地
氏 名	名古屋掖済会病院
	院長 北川 喜己
	（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号	052-652-7711
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	名古屋掖済会病院
事業場の所在地	愛知県名古屋市中川区松年町4丁目66番地
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	83 医療業
② 事業の規模	許可病床 602床（うち救命救急センター56床）
③ 従業員数	1,347名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	・医療行為により発生する感染性廃棄物 院内清掃業者により院内収集場所へ運搬→収集運搬委託業者により院外へ搬出→収集運搬委託業者により中間処理委託業者の事業場に搬入→中間処理委託業者にて中間処理（焼却）→中間処理後に発生する残渣を最終処分場へ運搬→管理型埋立にて最終処分

特別管理産業廃棄物処理に係る管理体制に関する事項

- (管理体制図)
- 病院長
↓
○副院長
↓
○看護部長、事務部長
↓
○医療廃棄物委員会
- ・ 特別管理産業廃棄物管理責任者 土田 昭宏
 - ・ 医師、中央放射線部、看護部、薬剤部、検査部
 - ・ 委託業者（院内清掃業者、収集運搬業者）

①現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油
	排 出 量	８２６．９７ｔ	０．５５ｔ
	（これまでに実施した取組） ・ 院内各部署にて分別の徹底を行う。 ・ 院内に廃棄物委員会を設置し、排出抑制、適正処理について職員、引取業者に周知徹底している。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油
	排 出 量	７５０ｔ	０．５０ｔ
	（今後実施する予定の取組） 今後も引き続き廃棄物委員会を通じ、全職員に排出抑制についての認識を高める。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ 注射針等の鋭利物は勿論、血液・体液等で汚染されていない固形物の分別を徹底することで、感染性廃棄物の排出抑制に努める。 ・ 他の廃棄物と混合することがないように、保管場所は厳重に施錠し、感染性廃棄物の保管場所である旨を表示、関係者以外の立ち入りを禁止している。
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ 上記の更なる取り組みを徹底する。

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・ 特になし		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 特になし		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・ 特になし		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 特になし		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分又は海洋処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油
	自ら埋立処分又は 海洋処分を行った 特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・ 特になし		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油
	自ら埋立処分又は 海洋処分を行う 特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 特になし		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油
	全 処 理 委 託 量	8 2 6 . 9 7 t	0 . 5 5 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	8 2 6 . 9 7 t	0 . 5 5 t
	(これまでに実施した取組) ・ 委託基準に従って書面による契約を実施。 ・ 処理委託業者の事業場へ定期的に訪問し、処理状況、管理体制などを確認している。（収集運搬業者、中間処理業者、最終処分業者）		

(第5面)

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油
	全処 理 委 託 量	7 5 0 t	0 . 5 0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	7 5 0 t	0 . 5 0 t
	(今後実施する予定の取組) ・これまで以上に取り組みを継続する		
	電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度(年度)実績】	
特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)		827. 52 t	
(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄			

別紙 1

【前年度（令和5年度）実績】

	廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油								
	名称（任意の名称を記入してください）										
①	排出量(t)	826.97	0.55								
②	自ら再生利用を行った量(t)	0	0								
③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)	0	0								
⑤	自ら熱回収を行った量(t)	0	0								
⑦	自らの中間処理による減量(t)	0	0								
⑩	処理委託した全量(t)	826.97	0.55								
⑪	優良認定処理業者への処理委託量(t)	0	0								
⑫	再生利用業者への処理委託量(t)	0	0								
⑬	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0								
⑭	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	826.97	0.55								

別紙 2

【今年度（令和6年度）計画】

	廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油								
	名称（任意の名称を記入してください）										
①	排出量(t)	750	0.50								
②	自ら再生利用を行う量(t)	0	0								
③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量(t)	0	0								
⑤	自ら熱回収を行う量(t)	0	0								
⑦	自らの中間処理による減量(t)	0	0								
⑩	処理委託する全量(t)	750	0.50								
⑪	優良認定処理業者への 処理委託量(t)	0	0								
⑫	再生利用業者への処理委託量(t)	0	0								
⑬	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0								
⑭	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	750	0.50								